

細腕なんて言わせない!!

287



「楽ではありませんね。でも、みんなに助けられて頑張っています。私、Rinを海外に向けていきたいんですよ」と、屈託なく語る鈴木さん

海外に向けて発信したいの

「直感で動いています」と話す

鈴木 ひろみさん

■着物リメイク「Rin」社長
■いわき市中岡町三ノ一〇ノ一八

電話／〇九〇―二九八二―四六八五

八年前に発生した東日本大震災。このとつもない「複合震災」によって、人生の大転換を図った人は少なくない。ケースはさまざまだが、その直後から「世界へ発信」を掲げ、着物のリメイクなどに日々まい進しているのは、鈴木ひろみさん（五〇）だ。

「社名の『Rin』は、凛（りん）と輪につながっています。震災に遭い、誰も被害を受けましたが、背筋を正しく凛として、また、輪をも大切に、みんなの前を向いて頑張りたい、こうした思いがあって付けました」

こうにこやかに話す鈴木さんの主とした仕事内容は、着物と洋服を組み合わせた「着衣服」のデザインとプロデュース。実家が食品関係の卸業を営んでいたこともあり、鈴木さんは短大で栄養学などを学び、栄養士の資格を取得。卒業後は一時、いわきの歯科医院に勤務したが、一年後には稼業の手伝いを行うなど、今の業態とはまるで別な社会だった。

その後、同町で畳店を営む正美さん（五三）と結婚し、三人の子どもを育ててき

た。大震災の折は他県への避難も経験したが、間もなく戻り、生活を続けている中、「たまたま友人と水戸のデパートへ行っただけです。その時に見たデニムの洋服が頭から離れず、衣類の素晴らしさを改めて感じました。洋服は人を幸せにするものなんです」と、満面の笑みで語る。

市があれば、飛びます

しかし、当の本人は着物も洋服も利用することはあっても、「縫製などの技術も知識もゼロ」と、述懐。このため、四倉町で縫製を行っている女性の元へ一年間通い、基礎などを学び、震災一年後の二〇一二年十二月に会社を立ち上げた。当初、作品は鈴木さんがパートとして働いていた小名浜の喫茶店の敷地の一部を借りて展示していたが、五年後の一七

年六月に自宅の敷地に店舗を新設し、本格的に活動を始めた。

「東京方面から市内外での商品の仕入れに飛び回ります。セリ市、骨とう市があるとすぐに出かけています」
こうして購入して

きた商品は、縫製を手伝って来てくれる人に制作を依頼。受けるのは、「私と同じ感性を持っている二十代から五十代までの幅広い層の女性スナップ十九人」で、鈴木さんのデザイン、要望を聞き入れ、オリジナルの作品作りをバックアップ。商品は平均で一万円台、高くても三万円台で販売だが、運営は厳しい面もあるようだ。



ただ、リメイクは着物にとどまらず、店内には和洋服の生地を利用したカラフルなバッグ、財布、携帯ケースといった小物類、傘や靴などまでズラリ。時折、遠野町のきもの乃館「丸三」などでも

一部の作品を展示、販売。オーダーメイドも随時受け付けている、という。

仕事に賭(か)けた思いを真摯(しんしん)に話す鈴木さんの元へは昨年、フランスのルーブル美術館での作品展の情報もあり、「この話は継続しており、今年十一月にあるかもしれません。仕事は手伝ってくれている彼女たちの力があってこそ、なんです」と、協力者たちへの労に感謝する傍ら、「私、直感で動いているんです。そしてRinは、海外へ目を向けて発信します」と、一段と声のトーンを上げて胸を張った。



「オーダーも受け付けています」

着物服でオリジナル作品を作って販売中

プロフィール

すずき・ひろみ

1968年6月2日、湯本町生まれ。「家業の影響もあってか、飲食業をやりたいのですが…」と、にこやかに語る。プレハブの店内には数え切れないほどのカラフルな“和”が並ぶ。「夫も休みの日などは作品を着てPRしてくれ、助かっています。楽ではないけど、楽しいです」。子どもは一男一女。得意な料理は「何でもですが、特にギョーザ」。B型

■お知らせ=このコーナーでは、自ら選んだ仕事に、あるいはその人生においてひた向きに励み、努めている女性を紹介しています。情報をお寄せください。

※このコーナーは隔月掲載です。

残したい日本のホンモノ

伝統的工芸品 しな織逸品展

日時 2019年4月25日(木)→5月7日(火)

伝統的工芸品
羽織しな布

樹皮から作られた
伝統の古代布が織りなす
素材で力強い
生命力に溢れた逸品

しな織創芸石田



有限会社 小野美術

■営業時間/午前10時～午後6時(最終日は午後5時閉場)
いわき市平字中町22番地の2 Kビル1F

(TEL&FAX)

0246-35-0383

(HP) <http://onobijutsu.jp>

(e-mail) onobijutsu@sirius.ocn.ne.jp